

オーストラリアへの協力に伴う、第 5 3 次南極地域観測隊および「しらせ」の航路変更について

1. 概要

昨年、豪州・モーソン基地において、氷状が陰しかったため豪州船（オーロラ・オーストラリス号）が基地に近づけず、燃料補給・物資輸送が出来なかった。この状態が続くと、基地の燃料が足りなくなる事態になるため、我が国の「しらせ」により、海氷を切り開いて欲しい旨オーストラリア政府より要請が来た。

そのため、国際協力の観点から要請を受け入れるため、本部連絡会を開催し、航路を変更により対応することとした。

2. 協力内容

昭和基地からの復路において、モーソン基地沖の海氷の切り開きを実施（定着氷域約 60 km）

予定期間：10 日間（平成 24 年 2 月 21 日～3 月 1 日）

3. 行動計画からの変更箇所

- ・ 復路 シドニー→フリーマントル
- ・ 南緯 55 度線通過日 3 月 12 日→3 月 11 日（1 日早まる）
- ・ 観測隊の退艦日 3 月 19 日→3 月 18 日（1 日早まる）

（参考）

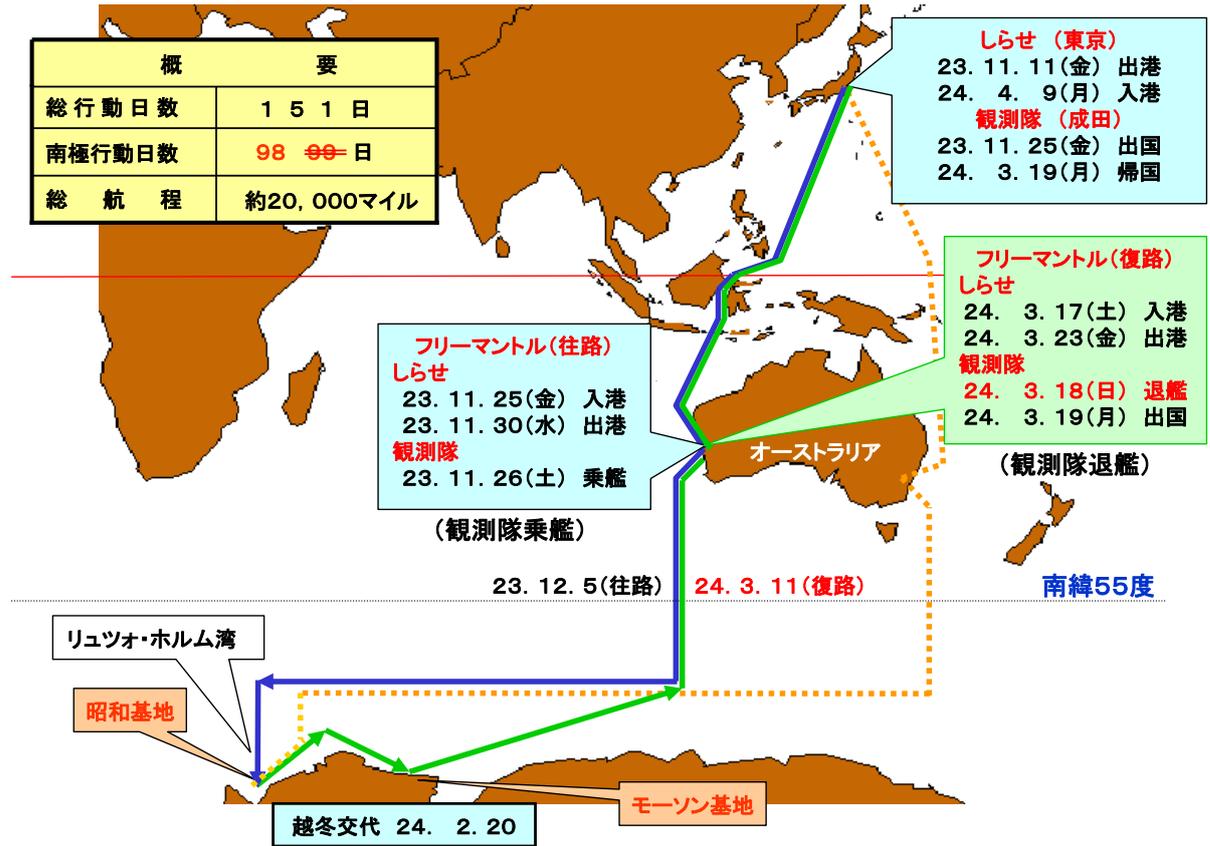
オーストラリア・モーソン基地

オーストラリアの 3 つの越冬基地のうちの 1 つ。オーストラリア初（1954 年）の大陸の基地であり、南南極圏で最も長く連続的に活動している基地。

基地名	開設年	夏・通年	最大人数	冬の平均人数
モーソン	1954	通年	60	20
昭和	1957	通年	110	28

COMNAP 資料より

第53次南極地域観測隊及び「しらせ」行動計画



第138回南極地域観測統合推進本部総会(H23.6.15)決定

第53次南極地域観測隊及び「しらせ」行動計画

